

アナログオーディオ& ゆとりライフマガジン

令和3年8月15日発行(年4回刊) 第17巻第4号通巻72号 ISSN1349-595X

季刊・アナログ

2021
SUMMER
vol. 72

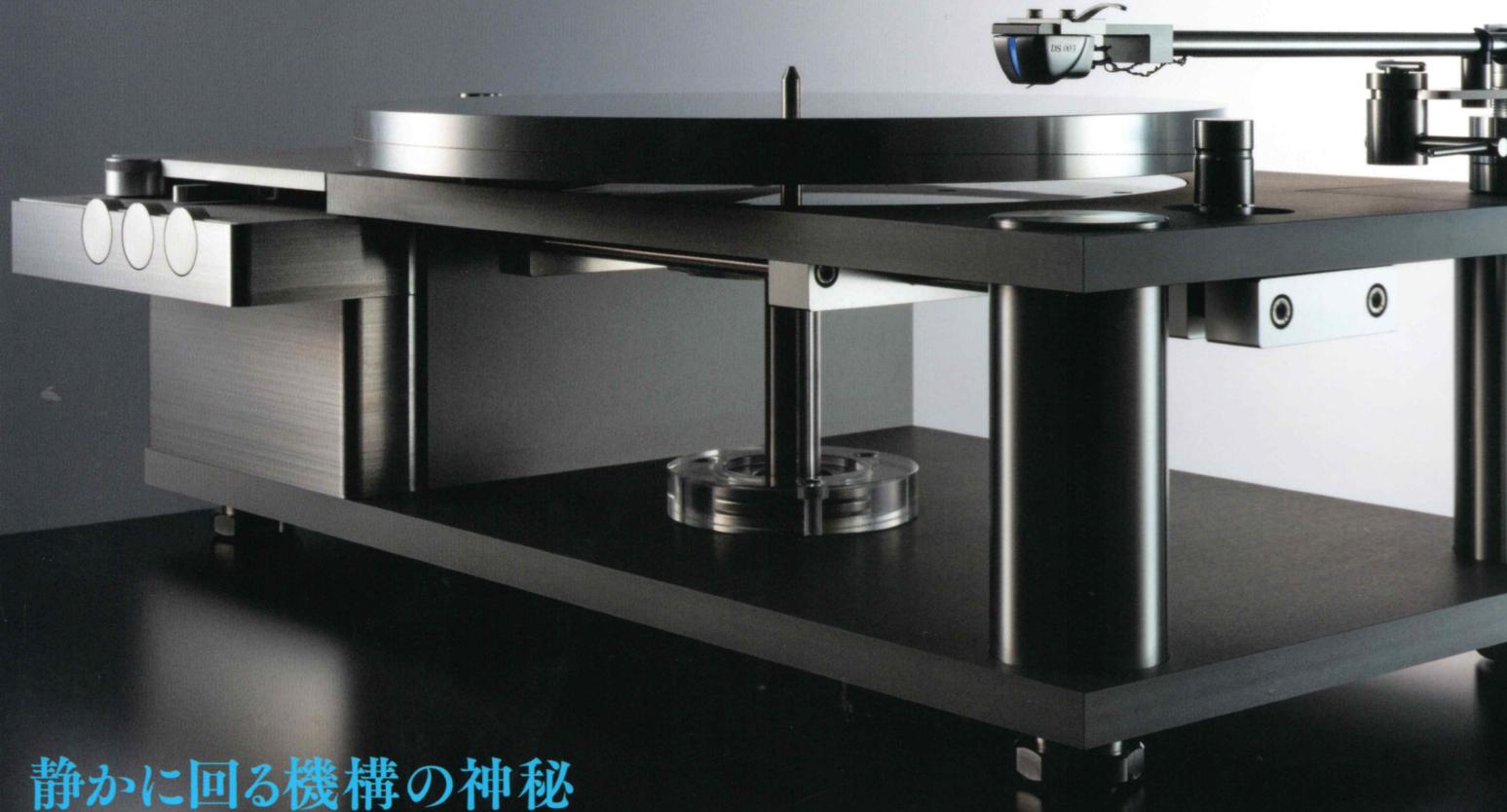
Phile
web

analog

ターンテーブルシートと
スタビライザー
私の流儀

Misty for Direct Cutting
山本 剛 インタビュー

レコード悦楽人Special
関口和之



静かに回る機構の神秘

世界の
アナログプレーヤー
World Excellent Turntables!!

コードの“大英断”

スピーカーケーブルの エントリー&ミドル級が大幅強化

英国を代表するケーブルブランドとして、日本でも絶大な人気を誇るコード・カンパニー。

そんな同ブランドの魅力は、最高峰の「コードミュージック」や「セイラムT」をはじめとしたトップエンドだけではない。

エントリーからミドルレンジの製品も最近になって劇的な進化を遂げている。そこで今回はこれらの価格帯のなかから、

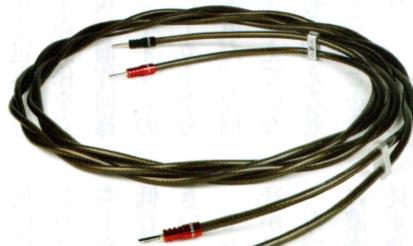
スピーカーケーブルにクローズアップ。注目のポイントは新たに投入された絶縁体の存在と端子部の強化。

林 正儀氏が新旧モデルの比較試聴を体験している。

後半では最高峰「コードミュージック」のスピーカーケーブルの魅力を紹介すべく、そのユーザー、

小林保則さん宅を訪問。「コードミュージック」が愛用スピーカーにもたらした“救い”的物語をお届けする。

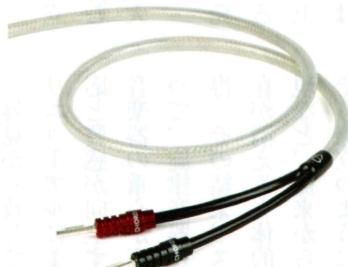
Text by
林 正儀
Masanori Hayashi



The Chord Company Epic XL

¥132,000(1.5mペア・税込)バナナ／Yラグ ※2mペア、2.5mペアもラインアップ

●絶縁体：XLPE ●端子：「コードオーミック」タイプ1(圧着とハンダ)＋アルミ製ケース



Shawline X

¥52,800(1.5mペア・税込)バナナ ※2mペア、2.5mペアもラインアップ

●絶縁体：XLPE ●端子：「コードオーミック」タイプ2(圧着)＋ABS樹脂製ケース

Epic X

¥69,300(1.5mペア・税込)バナナ ※2mペア、2.5mペアもラインアップ

●絶縁体：XLPE ●端子：「コードオーミック」タイプ2(圧着)＋ABS樹脂製ケース



Clearway X

¥36,300(1.5mペア・税込)バナナ ※2mペア、2.5mペアもラインアップ

●絶縁体：XLPE ●端子：「コードオーミック」タイプ2(圧着)＋ABS樹脂製ケース

X L P E の 詳 細 は 企 業 秘 密 だ
が、同 社 の 従 来 の エ ン ト リ ー か
ら ミ ド ル レ ン ジ 旧 セ イ ラ ム 等 に
採 用 さ れ て い た 絶 縁 材、P T F E
(テ フ ロ ン) に 代 わ る、よ り 高
性 能 な マ テ リ ア ル と し て 注 目 さ
れ て い る の だ。室 温 で 大 き な 位
相 变 動 の 起 キ る P T F E に 対 し
て、X L P E は タ イ ロ ン に 近 似 し
た フ ラ ッ ツ な 位 相 特 性 だ と い
う。こ れ が 微 小 レ ベ ル の 再 現 性
に 大 き く 影 韻 す る。ご く わ ず か
な ニ ュ ア ン ス の 表 現 が 音 楽 再 生
に は 決 定 的 な 差 に な る わ け だ。
今 回 は この 新 絶 縁 素 材 X L P

「タイロン」に近い特性を実現
新絶縁材「XLPE」を投入



C-Screen X

¥29,920(1.5mペア・税込)バナナ
※2mペア、2.5mペアもラインアップ
●絶縁体：XLPE ●端子：「コードオーミック」タイプ2(圧着)+ABS樹脂製ケース



Leyline X

¥946(／m・税込)152mリール販売
●絶縁体：XLPE ●推奨端子：「コードオーミック」タイプ2(圧着)+ABS樹脂製ケース

Eを採用し、ブラッショアップされたスピーカーケーブルを紹介しよう。すばり「エピック」以下の全モデル。ビギナーからミッドまでの、比較的お手頃価格のスピーカーケーブルを全て刷新するという大英断に驚く。しかも価格もリーズナブルだ。従来モデルからほとんど変わらずに済むのはコード・ユーザーとしても嬉しい限りだろう。

過去に類のない圧着技術「コードオーミック」を採用

この端末処理は2つのグレードに分かれている。タイプ1が同社の上位モデル「コードミユージック」から「エピックXL」に採用されているもので、圧着とハンダ付けのダブル処理で接続。プラグにはシールド効果のあるアルミ製ケースを採用。タイプ2はミドルからエントリーラインに採用。「エピックX」から「レイラインX」までに採用され、圧着のみでの接続。適化することで、作業性はもちろん、音質的にも大きな効果

を引き出すことに成功した。「コードオーミック」と命名された端末処理で、プラグはバナナ、Yラグ仕様とともに特殊合金+銀メッキ(ダイレクトプレーティング)を採用。

この端末処理は2つのグレードに分かれている。タイプ1が同社の上位モデル「コードミユージック」から「エピックXL」に採用されているもので、圧着とハンダ付けのダブル処理で接続。プラグにはシールド効果のあるアルミ製ケースを採用。タイプ2はミドルからエントリーラインに採用。「エピックX」から「レイラインX」までに採用され、圧着のみでの接続。適化することで、作業性はもちろん、音質的にも大きな効果

タイプ1、2はともにドイツ製の電動圧着機を使用。理想的な圧着処理を可能にしている。

「コードオーミック」。この2つの技術が新たに採用されたことを念頭においていただき、個々に解説していく。

一昨年から今年の頭にかけて登場したXLPE搭載モデルは、末尾に「X」がついてXシリーズとしてラインアップされているのでわかりやすい。上位モデルから「エピックX(上位にエピックXLもある)」「ショーライントンX」「クリアウエイX」「CスクリーンX」。そして屋内配線等を想定したインストール用の「レイラインX」の合計6製品である。



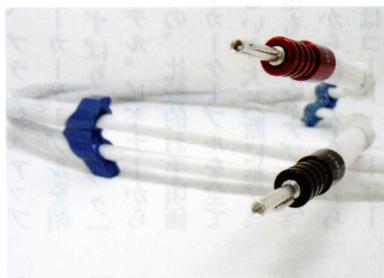
「コードオーミック」処理の音質効果を確認するため、ハンダ付けした端子をその場で圧着つけかえて比較試聴を行った

エンブリーからミドル級の6モデルの新旧比較を実施

コード社がシールドを重視しているのは周知だろう。もちろんそのシールドの厳重さや導体もランクによって異なるわけだが、白いシースの方からみていくと、「ショーラインX」は高・低周波シールドを施した銀メッキ導体。その下の「クリアウエイ」からは銀メッキを省略。弟分の「CスクリーンX」も同様



独自の端子圧着処理「コードオーミック」で、実際の圧着時に使用されるドイツ製の電動圧着機を手にする筆者



「コードミュージック」には新開発「コードオーミック」タイプ1プラグを採用。圧着とハンダ付け併用、アルミ製の高周波シールドケースを装着した新世代プラグ



スピーカーケーブル
1.5mペア=¥704,000 /
2mペア=¥935,000 (ともに税込) バナナorYラグ
※延長分:@0.1m=¥46,200 (税込)

The Chord Company ChordMusic Speaker Cable-Ohmic

X L P E 絶縁材の御利益
微細な表現まで逃さない

「エピックXL」ではまとめてシールドするのに対し、格上の「エピックXL」は1本1本、より厳重にシールドをかけたもの。外観からもおわかりだろう。前述の端子処理は「エピックXL」のみが圧着とハンダのダブル処理+アルミ製ケースのタイプ1。その他は、圧着のみ+ABS樹脂製ケースのタイプ2を採用。この違いも音質を語る上でのポイントだ。

だ。最エントリーの「レイラインX」だが、これは錫メッキ導体ながら、XLPE絶縁材と圧着プラグの「コードオーミック」を備える超ハイCPモデルだ。そして濃い茶色のシースの高級モデル「エピックX」とその上位仕様である「エピックXL」は少し説明が必要だろう。銀メッキ導体は共通だが、シールドとプラグも異なるからだ。左右別々にシールドするか、まとめてシールドするかである。

「エピックXL」ではまとめてシールドするのに対し、格上の「エピックXL」は1本1本、より厳重にシールドをかけたもの。外観からもおわかりだろう。前述の端子処理は「エピックXL」のみが圧着とハンダのダブル処理+アルミ製ケースのタイプ1。その他は、圧着のみ+ABS樹脂製ケースのタイプ2を採用。この違いも音質を語る上でのポイントだ。

時間軸がピタリと揃う

次はミドルクラスの「エピックX」だ。ここで先ほどの圧着加工プラグの実験である。目の前でバサつと「旧」のハンダ取り付けの端末をカット。大型の電動圧着マシンを用いて新型のプラグをケーブルにつなぐのだが、作業は意外に簡単で数分で

完了。接点が劇的に改善され、あいまいだったディテールがぴたりと描かれる。音楽がよりダイレクトに訴えかけるメリツトがありそうだ。同じアデルの曲を「エピックX」で聴くと、また一段とヴァーカルが冴えて、ユアンスも乏しい。それが新モデルだと声の粒子が細やかに。ニュアンスやのびやさが増し、鍵盤のタッチにも変化が生まれた。この傾向がハイCP人気モデルの「CスクリーンX」や「クリアウェイX」ではさらに顕著になつたのだ。これがXLPE絶縁材の御利益なのか。その上の「ショーラインX」までくると、世界観と表現したくなるよう、様々な感情のこもつた音色が聴けて楽しい。発音のひとつひとつが大切にされる。躍動感がたっぷりな一方、かすかな音色変化や感情表現も聴き逃せないなどという感想だ。これを聴いて「Xシリーズ」にかかる手はないだろう。

誰がリードしているかもわからない。タイムがあうかあわないかは音楽演奏では決定的な違いだろう。あなたも、時間の流れたケーブルで聴いてはいけない。最後にお知らせが。端子の交換圧着キャンペーンをはじめるとのことだ。ホームページにて確認しよう。

■「コードミュージック」のユーザーを訪ねる

地獄の2年から救つてくれた 「コードミュージック」の存在

小林保則さんは以前本誌の「レコード悦楽人」にも登場し、

筆者はアンダンテラルゴでのケーブル試聴で一緒にした方だ。

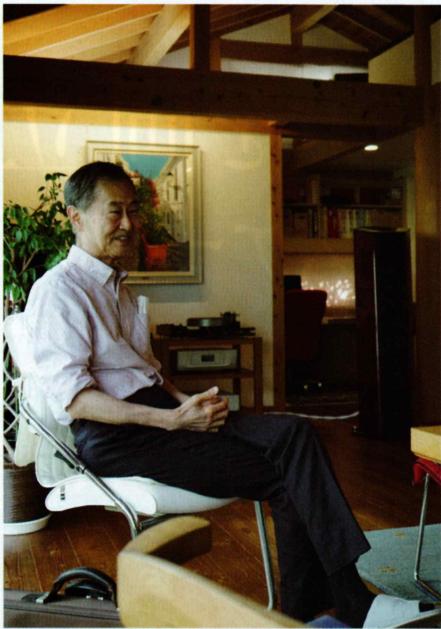
このほど愛用してきたソナオーディオの「サー・シャ」から180度志向を変え、ソナス・ファベールのクレモナシリーズ「イル・クレモネーゼ」を導入。

音楽鑑賞を楽しむ毎日という。東京郊外の静かな環境。天然木の響きを生かした明るい18畳のリスニングルームだ。天井が高く、左右対象でないこの部屋に、巨大なスピーカーが設置されている。

「実は少し病気をしましてね。快気祝いに迎え入れたのがソナスのスピーカーでした。古希でも思い切ったというか、ウイルソンからソナスは振り幅が大きすぎるなあ……などと考え事をする間もなく、「これが鳴つてくれなくて、地獄の2年でした」と遍歴を語る小林さんである(嬉しそうだが)。部屋のせいなのか。周波数のかぶりといふか、とにかく低音が出ない。そこで駆動力のあるダンダゴスタイルのパワーアンプを導入。コンステレーションのプリと試行

そんな時、アンダンテラルゴの無料貸し出しサービスで頼んでいた「セイラムT」と「コードミュージック」のスピーカーケーブルが届いたのだ。「どうせダメだろうと思つたけど、違いましたね。これにはビックリ。俄然低音が出るようになり、音が生き生きとしてきたのです」。

そして色々な音楽を試していく結果「コードミュージック」が「救い」をもたらしたのだ。



小林保則さん

Yasunori Kobayashi

その音を、いや小林さんの愛する音楽を聴かせていただいた。気品のあるクレモナらしい、艶やかでありながら凛としたたずまとの音楽たちが次から次へ……。45回転盤の『シャブリエ』(マー・キュリー)は、明るく迫力がある。情熱のリズムと華やかな金管が印象的だ。続いてバッハのモテット集。これも80年頃の録音だが、豊かな低音域に支えられ、天井から至福のコーラ

一音一音が味わい深く
開放的な音楽を堪能



本誌40号の「レコード悦楽人登場!」でもご紹介した小林さん宅の18畳のリビングルーム。平屋建てにこだわり、天井の高さも魅力。床と壁は杉材、柱は檜で天然木の響きを生かしている



小林さんの愛機、ソナスファベールのスピーカー「イル・クレモネーゼ」に装着されたスピーカーケーブル「コードミュージック」



小林さんの愛用スピーカーはソナスファベールの「イル・クレモネーゼ」
パワーアンプはダンダゴスタイルのモノラル仕様。本機とスピーカー間で「コードミュージック」のスピーカーケーブルを使用



スが舞い降りる。ピアノ三重奏の「大公トリオ」は絶品だ。ゆったりとくつろいで音の重なりを楽しむ。一音一音が味わい深くこれぞ燻し銀の音である。「エテルナ盤の室内楽が聴けるようになります

た」。私が持参した「角田健一・ビッグバンド」(SACD)はスカッと開放的なサウンドが味わえた。小林さんの暖かな人柄を感じながらのあつという間の3時間だった

錯誤しつつ、デジタルプロッサーも導入する。だが、強制的に整えた音楽再生だけでは潔くはない。ケーブルは某メーカーのシルバー線を使つたこともあつたそうだ。

「実は少し病気をしましてね。

快気祝いに迎え入れたのがソナスのスピーカーでした。古希でも思い切ったというか、ウイ

ルソンからソナスは振り幅が大きすぎるなあ……などと考え事をする間もなく、「これが鳴つてくれなくて、地獄の2年でした」と遍歴を語る小林さんである(嬉しそうだが)。部屋のせいなのか。周波数のかぶりといふか、とにかく低音が出ない。そこで駆動力のあるダンダゴスタイルのパワーアンプを導入。コンステレーションのプリと試行

の無料貸し出しサービスで頼んでいた「セイラムT」と「コードミュージック」のスピーカーケーブルが届いたのだ。「どうせダメだろうと思つたけど、違いましたね。これにはビックリ。俄然低音が出るようになり、音が生き生きとしてきたのです」。

そして色々な音楽を試していく結果「コードミュージック」が「救い」をもたらしたのだ。